



うちのイチ押し!

大阪市

こどもカーニバル2020



市内の青少年団体などの協力を得て、全市のこどもたちが家族や友だちと楽しく遊べることも同士の交流の場として、わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

- **セレモニー広場**…こどもたちによる鼓笛隊やブラスバンド等の演奏などが行われます
- **わんぱくひろば**…スタンプラリー、ゲーム、ストラップ工作など
- **遊び体験コーナー**…紙飛行機チャレンジなど
- **模擬店コーナー**…フランクフルト、コロッケ、ジュースなど

日時 4月19日(日) 10:00~15:00

場所 大阪城公園 太陽の広場、野球場
(JR「大阪城公園」、Osaka Metro「大阪ビジネスパーク」)

対象 どなたでも **費用** 入場無料 (コーナーにより一部有料)

※雨天中止 (小雨決行) のほか、感染症等の影響により中止になることがあります。

自由
入場



お問い合わせ 大阪市総合コールセンター
(年中無休・8~21時)
電話: 4301-7285 FAX: 6373-3302

大阪市こどもカーニバルとは

市内の青少年団体などの協力を得て、こどもたちの健やかな成長を願い、昭和54(1979)年から開催されています。こどもたちによる演奏や開会宣言、大型のこいのぼりの掲揚など、こどもたちが主役となって活躍し、工作、ゲームなどこどもたちが家族や友だちと楽しく参加できる多彩な催しで、一日中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。



主催: 大阪市 実施主体: 大阪市子ども会育成連合協議会



おおさか

歴史探訪

144

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

かつおざばし 鯉座橋と土佐藩蔵屋敷

新緑の季節となり、カツオ漁のニュースが聞かれるようになりました。西区新町・北堀江にそのカツオの名前がついたところがあります。それが「鯉座橋」の跡です。橋そのものは現在なくなっていますが、長堀通と新なにわ筋の交差点の名称として残されています。

この名称のもととなった鯉座橋は長堀川に南北にかかっていた。東西に延びていた長堀は江戸時代の元和年間(1615~1624年)には整備され、その西端に近いところに江戸時代のはじめに土佐藩の蔵屋敷が設置されました。その屋敷は4,000坪を超える広大なもので、付近には土佐の名産品を求めて商店なども集まりにぎわいました。長堀にかかるこの橋は土佐藩の屋敷があったことから「土佐橋」とも呼ばれましたが、江戸時代でも前半の内には「鯉座橋」の名前が定着していました。これは鯉節の名産地として知られた土佐藩の屋敷があったことから、鯉節を扱う商人が橋の北側に集まり「鯉座」となったため、名がついたといわれています。土佐藩の鯉節は大坂の市場では最上位の評価を受けており、江戸など他地域にも盛んに移出されました。

長堀川そのものは昭和45(1970)年に埋められて長堀通となり、付近の風景は大きく変わりました。橋はなくなりましたが、かつて土佐藩の屋敷があったこの付近には蔵屋敷内に営まれた神社を引き継ぐ土佐稲荷神社があるなど、往時をしのぶ手がかりが少しですが残されています。



鯉座橋交差点より